

伊藤大使のソマリ州ジジガにおける貯水池整備サイト訪問

2022年4月11日、伊藤大使はソマリ州ジジガ市を訪問し、ILOを通じた令和2年度補正予算(支援額約110万米ドル)「ケブリバヤ・ジジガ地域における水・衛生事業を通じた雇用創出及び防災支援」事業の進捗状況を確認しました。また、伊藤大使は、頻発する干ばつ対策等についてソマリ州政府と意見交換を行いました。

本事業は、ソマリ州のカブリバイヤ及びジジガ地域において、7つの貯水池建設等を通じたIDPsやホストコミュニティ等への雇用創出支援及び防災支援を実施するものです。今回の現場訪問を通じ、コミュニティ参画を通じた貯水池建設により、住民の公共事業への参画意識の高まりを感じるのと同時に、同施設による飲料水、家畜用水、さらには農業開発への波及効果への期待が確認できました。

また、同貯水池建設のために、日本のNGOである「道普請人」による土嚢を使った貯水池岸壁整備の実施、技術移転が行われています。現地の関係者からは、現地物資活用による低コストの住民参加型技術の他地域への展開に関心が示されました。



伊藤大使による
スピーチ



土嚢による貯水池整備



地元住民との意見交換



ソマリ州政府との意見交換